



戦争体験の朗読に耳を傾けていました。

朗読ボランティア「やさいの花」 平和への思いを紡ぐ

戦争体験の朗読に耳を傾けていました。

今年も、朗読ボランティア「やさいの花」の皆さんの協力で、心を打つすばらしい朗読会となりました。

会場に元氣なかけ声響く
老人クラブ世代間交流運動会

7月30日、西木町松木内の吉田体育館で仙北市老人クラブ連合会が主催する世代間交流運動会が行われました。

連日の猛暑が心配されましたが、当日は体育館に風が吹き渡り、競技に取り組む熱気もほどよく緩和され、市内老人クラブ会員の皆さんや、ひのきないこども園の園児たちが紅白に分かれ、たくさんの種目で競い合いました。

園児たちの元氣なかけ声に参加者も力をもらい、会場は大いに盛り上がりました。



たくさんの種目に挑み、心地よい汗を流しました。

「レッツ!チャレンジ!」
おやこのクッキング教室

8月1日、中川小学校で小学生とその保護者を対象に『レッツ!チャレンジ!おやこのクッキング教室』が開催され、市内の小中学校から7組の親子が参加しました。

この教室は仙北市食生活改善推進協議会が食事づくりの体験を通して「食」に対する興味や関心を育み、親子で一緒に調理して「食べることの楽しさ」を実感してもらおうと行われたものです。



児童たちは食生活改善推進員や保護者と一緒に調理や試食をしたり、食べ物についてのお話や食育ゲームを通じて、食事の大切さを学んでいました。



今年は「わんぱくサンドイッチ」、「貝たくさんミネストローネ」、「フルーツヨーグルト」の3品を作りました。



平成30年度
仙北市
成人式

8月15日、「平成30年度仙北市成人式」が、仙北市民会館で開催されました。今年の新成人は、平成9年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた264人。

式では、新成人の大石海斗さんが司会を務め、成人者を代表して、丹野ちひろさんが成人証書を受け取りました。「誓いのことば」では、齋藤千歳さんが「現在は仙北市役所に勤務している。大人の自覚を持ち、中身のあ



成人を代表して、丹野ちひろさん(左)に門脇市長(右)から成人証書が授与されました。

■成人式当日に出席できなかった方へ
成人証書を9月28日まで生涯学習課で保管していますので、受け取りに来てください。
受取場所・問合せ/教育委員会 生涯学習課 (角館庁舎2階) ☎43-3383



▲「誓いのことば」を述べた齋藤千歳さん、浅利圭吾さん、門脇蓮さん(左から順に)。

伝統芸能 ささら舞

8月15日、角館地区で伝統芸能「ささら舞」が昼と夜の2回にわたりに行われました。

さらさらは、佐竹家が常陸から秋田に国替えになった際に伝わり400年以上の歴史を持つといわれ、現在は盆行事の1つとして祖霊や神仏供養、五穀豊穡を祈り行われています。

昼の部は、角館榊細工伝承館前広場で広久内さらさらが、白岩雲巖寺で白岩さらさらが行われ、夜の部も立町ポケットパークで勇壮な舞を披露し、訪れた観客を魅了しました。



立町ポケットパークで披露されたさらさら舞。

田沢湖駅前広場

夏まつり

8月15日、JR田沢湖駅前広場で「第4回田沢湖駅前広場夏まつり」が開催されました。

この催しは、こまちの会(村上陽子会長)が駅前を活性化しようと毎年行っているものです。

当日は、親子で楽しむアルミ缶風車作りやカラオケ大会のほか、地域の伝統行事である梵天や西馬音内盆踊りなどが披露され、多くの観客を楽しませていました。



湖校会の皆さんによる「田沢湖さんせ」。



負傷した登山者を消防防災ヘリで救助搬送。

仙北市
総合防災訓練

8月9日、仙北市と秋田県消防協会大仙仙北美郷支部が主催する「仙北市総合防災訓練」が田沢湖地区で行われました。

この訓練では、秋田駒ヶ岳の火山活動が活発になり居住地近くまで重大な影響を及ぼす可能性があると判断して「噴火レベル1（活火山が活発であることに留意）」から「噴火レベル3（入山規制）」に引き上げられたという想定で、関係機関や市民などが参加しました。

たざわ湖スキー場では、黒森山コーラスを山頂に見立て、ドローンを使用して付近の情報収集をしながらスピーカーで下山を呼びかけ、登山者



消防団による登山道の倒木除去訓練。

を発見すると携帯電話の補給をしました。また、ドローンからの情報にもとづき、負傷者を発見し、防災ヘリ「なまはげ」による救助活動が行われました。

また、火山のハザードマップ内の田沢湖・水沢地区では、各地区の自主防災組織を始めとする市民の避難行動やショートステイ・ひだまりの利用者が速やかに避難できるように地元消防団や仙北警察署が連携し、迅速な避難を行いました。

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部の鈴木良則消防長は「より実践に近く検証と提案型の訓練だった。仙北市の自然災害の特徴である火山の訓練ということで、様々なアイデアが取り入れられていた」と講評を述べました。



新潮社創業者 佐藤義亮
生誕 140年記念事業を開催

7月25日、角館図書館後援会と仙北市の関係者は、新潮社創業者佐藤義亮生誕140年を記念して、株式会社新潮社を表彰訪問しました。

一行は、本館ロビーの佐藤義亮胸像をはじめ、著作権管理部、営業部、校正部、編集部他社内をご案内いただき、部屋ごとに担当部長から詳細な説明を受けました。

同日、第47回神楽坂祭り毘沙門天善國寺境内では、記念事業として、おやま囃子と手踊りを3度にわたり披露しました。この様子は、神楽坂通りにスピーカーで流され、多くの人がお囃子の音を楽しみました。会場内は、家族から郵送された広報を片手に故郷を懐かしむ人、伝統芸能を楽しむ海外の方など、多くの人で賑わいました。

24日から29日まで、かぐらざか五感肆（ごかんし）パレアナでは、佐藤義亮と新潮社記念文学館、角館図書館後援会、仙北市を紹介するパネル展示やDVD放映、樺細工他地元の品を展示販売しました。来場者からは、「これを機会に仙北市を訪れてみます」との感想も寄せられました。

※この事業は、株式会社新潮社、神楽坂通り商店会、神楽坂文化振興倶楽部、角館図書館後援会他多くの団体や個人の皆さまからのご支援、ご協力により実現しました。



五感肆パレアナで神楽坂文化振興倶楽部の方々。



右から4人目が佐藤隆信社長。右端は、伊藤幸人取締役。新潮社内での著作権管理部資料室の様子。



毘沙門天善國寺境内での物販風景。

8月3日から5日までの3日間の日程で18年目、第33回の「角館キッズ学び教室」が角館交流センターで行われ、市内外の小・中学生74人が参加しました。

この教室は「楽しい学習オタスケマンの会（草薙稔会長）」が子どもたちの自学自習を支援しよう、毎年、夏・冬の長期休みに開催しています。

期間中は、現職や退職した先生、市民などの「オタスケマン」と高校生による「フレッシュオタスケマン」の29人の皆さんが、全力で子どもたちの質問に丁寧に答えていました。



オタスケマンのおかげで、難しい問題もスイスイ解決したよ！

オタスケマンが勉強を手助け

角館柔人クラブが活躍
秋田県スポーツ少年団柔道交流会



7月29日、横手市の武道館で開催された「第41回秋田県スポーツ少年団柔道交流会」で、角館柔人クラブの選手が活躍し、小学生女子団体の部で優勝、中学校男子団体の部で、角館中学校が3位入賞を果たしました。

▲写真【敬称略】
左から、加藤希望（角館小6年）、戸堀蒼悠（中仙小6年）、児玉さくら（角館小6年）、能美晴理華（角館小6年）

秋田県中学校総合体育大会柔道大会
鎌田匠人君（角館中3年）が優勝



男子個人66kg級で優勝した鎌田匠人君。

7月14日から16日に秋田県立武道館（秋田市）で開催された「第67回秋田県中学校総合体育大会柔道大会」で、男子個人66kg級に出場した角館中学校3年の鎌田匠人君が優勝し、東北大会と全国大会への出場を決めました。

男子個人66kg級には全県から22人が出場、鎌田君は1回戦から順当に勝ち進み、決勝戦でも冷静な試合運びで優勢勝ちを収めました。

鎌田君は、小学4年生から柔道を始め、中学校入学後も練習に励む一方、冬はアルペンスキーの競技にも打ち込み、2月に鹿角市で行われた全国中学校スキー大会では、スラロームとジャイアントスラ

ロームに出場しています。2つの競技をこなすことについて鎌田君は「冬のスキーで鍛えた足腰が柔道に活かされ、柔道での筋トレがスキーに活かしている」と話します。東北大会、全国大会に向けての抱負については「各県から強い選手が集まる中で、もちろん優勝を目指すのが、自分の力がかつて通用するかチャレンジの場だと思って、今まで練習で培ってきたことを出していききたい」と話しました。

鎌田君は、8月7日から秋田県立武道館で行われた東北大会、8月17日から広島県広島市の広島県立総合体育館で行われた全国大会に出場しています。